



町民のみなさまと共に進む議会を目指して

羽幌町議会議長 村田 定人

新年明けましておめでとうございます。みなさまには、令和7年の輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に対する温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では元日に発生した能登半島地震が大きな被害をもたらしました。当町と姉妹都市である石川県内灘町でも液状化現象による被害が顕著で、全壊や半壊した住宅も多く、復興に向けた取り組みが現在も続いております。

この度の震災で犠牲となられた方々に心からご冥福をお祈りするとともに、被災地の1日も早い復興を待ち望んでおります。

また、南海トラフ地震のリスクも依然として高く、広範囲にわたる甚大な被害が予想されていますので、災害に対する心構えや備えを怠ることなく、日々の暮らしに活かしてまいりたいと考えております。

このような中、わが国の景気は緩やかに回復し、デフレからの脱却に向けた動きが進んでおります。賃金の上昇や企業の投資意欲が高まり、日経平均株価がバブル景気の最高値を更新し、3月には4万円を超えました。一方、パリで開催された2024年夏季オリンピック・パラリンピックでは、多くの新記録が生まれ、旭川市出身の北口榛花選手が女子やり投げで金メダルを獲得するなど、多くの日本人選手がメダルを獲得しました。

本町では、羽幌高校ラグビー部が富良野・芦別合同チームで、北海道高校ラグビー北選手権大会で初優勝し、町民に大きな歓びと感動を与えました。

基幹産業である農業では、7月、8月の豪雨による農地への浸水や河川氾濫によつて甚大な農地災害が発生しました。しかし、主要農作物の水稲の収量は平年を上回り、食味も良好でした。一方、畑作物は長雨の影響を受け、総じて収量が半減しました。

漁業では、前年に対し総漁獲量は減少したものの、「にしん」の漁獲量が増えているほか、一部魚価の上昇もあり、水揚げ金額は年間事業計画を上回っております。

商工業では、町内事業所の相次ぐ閉鎖があるなど、各産業とも依然として厳しい情勢にありますが、経営安定に向けた取り組みが今後も必要不可欠と認識しております。

さて、喫緊の課題である公共施設の更新については、天売複合施設建設、留萌中部地域子ども発達支援センター建替え、焼尻小中学校改築、羽幌町中央公民館旧館建替え等の大型事業が予定されており、今後も「各常任委員会」や「公共事業等調査研究特別委員会」で引き続き議論をしてまいります。

重要課題の医療体制の充実においても、「医療問題調査研究特別委員会」を中心に、関係機関に対し要請活動を行ってまいります。

「開かれた議会」「町民参加の議会」を目指して、昨年3月定例会から開始した議会一般質問のインターネット録画配信については、総再生回数2千5百回を超え、多くのみなさまに時間に制限されることなく視聴いただけたものと感じております。

また、今年度も実施した町民参加の意見交換会を、来年度も引き続き開催し、町民のみなさまの声を聞いてまいります。

本年は、議員任期の折り返しの年となります。議会改革も含め、引き続き山積する課題解決に向け、町民のみなさまと共に進む議会を目指して誠心誠意努力をいたす所存でありますので、今後においても一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が、みなさまにとつて健康で喜びと幸せに満ちた一年でありますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。